

事 務 連 絡  
平成30年10月1日

各都道府県・指定都市教育委員会指導事務主管課  
各都道府県私立学校事務主管課 御中  
附属学校を置く関係国公立大学法人附属学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局教育課程課  
文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課  
国立研究開発法人科学技術振興機構理数学習推進部

### スーパーサイエンスハイスクール公募説明会について

文部科学省では、このたび平成31年度のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）支援事業に関する公募説明会を下記により開催いたします。つきましては、担当者の出席参加登録についてよろしくお取り計らい願います。

### 記

#### 1 日 時

第1回：平成30年11月8日（木）14：00～16：00  
第2回：平成30年11月9日（金）14：00～16：00

#### 2 会 場

三田共用会議所1階 講堂（別添の地図をご覧ください）

#### 3 日 程

##### 第1回

13：00～14：00 受付  
14：00～16：00 説明，質疑応答

##### 第2回

13：00～14：00 受付  
14：00～16：00 説明，質疑応答

※第1回と第2回の内容は同じです。

#### 4 参加対象

- (1)平成31年度に、新規にSSH指定を希望する学校・管理機関の関係者
- (2)平成30年度以前にSSHの指定が終了し、平成31年度に改めて指定を希望する学校・管理機関の関係者
- (3)平成31年度にSSHの指定が継続し、平成31年度に科学技術人材育成重点枠への申請を希望する学校・管理機関の関係者

## 5 事前登録

本説明会に参加するためには事前登録が必要です。各都道府県・指定都市教育委員会高等学校教育主管課においては、所管の高等学校等及び域内の市町村教育委員会等が所管する高等学校等及び主管課関係者について、各道府県私立学校事務主管かにおいては、所轄の私立学校等及び主管課関係者について、附属高等学校及び中等教育教育学校を置く各国公立大学附属学校事務主管課においては、その管下の附属高等学校等及び主管課担当者について、参加希望者を取りまとめの上、別添の「SSH公募説明会出席者登録票」平成30年10月26日（金）までに下記送付先までメールにて送付願います。参加希望者を提出する際の電子メールの件名については「SSH公募説明会：都道府県名（公立・私立）又は大学名」としてください。

- （例）
- ・〇〇県教育委員会の場合「SSH公募説明会：〇〇県（公立）」
  - ・〇〇県私学担当課の場合「SSH公募説明会：〇〇県（私立）」
  - ・〇〇大学の場合「SSH公募説明会：〇〇大学」

※出席登録票には、希望する回（第1回もしくは第2回）を必ず記載ください。

※参加者多数の場合は、1校当たりの参加者数を制限する場合があります。

## 6 参加旅費について

参加者の負担とします。

## 7 出席者登録票送付先

文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程第二係 E-mail: [ssh@mext.go.jp](mailto:ssh@mext.go.jp)

## 8 注 意

三田共用会議所に入館する際には本事務連絡及び身分証明書が必要となりますので、当日は忘れずにご持参ください。

### 【本件連絡先】

文部科学省

初等中等教育局教育課程課教育課程第二係

荻野、太田桐

TEL 03-5253-4111（内線 2613）

FAX 03-6734-3734

E-mail [ssh@mext.go.jp](mailto:ssh@mext.go.jp)

科学技術・学術政策局人材政策課次世代人材育成係

浦山、香浦

TEL 03-5253-4111（内線 3890）

FAX 03-6734-4022

国立研究開発法人科学技術振興機構

理数学習推進部先端学習グループ

落合、菅原

TEL 048-226-5683

FAX 048-226-5685

## 背景・課題

○ 将来にわたり、日本が科学技術分野で世界を牽引するためには、イノベーションの創出を担う、科学技術関係人材の育成を中等教育段階から体系的に実施することが不可欠。

「第5期科学技術基本計画」(抄)(平成28年1月22日 閣議決定)

・国は、学校における「課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学び(いわゆるアクティブ・ラーニング)」の視点からの学習・指導方法の改善を促進するとともに、先進的な理数教育を行う高等学校等を支援する。

「全ての子どもたちの能力を伸ばし可能性を開花させる教育へ(第9次提言)」(抄)(平成28年5月20日 教育再生実行会議決定)

・国、地方公共団体、大学、高等学校等は、スーパーサイエンスハイスクール・・・の取組の成果を検証しつつ、効果の上がっている取組を推進するとともに、優良事例の普及を図る。

「第3期教育振興基本計画」(抄)(平成30年6月15日 閣議決定)

・創造性を育む教育や理数学習の機会の提供等を通じて、児童生徒の才能を伸ばす取組を推進するため、学校における主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を促進するとともに、先進的な理数教育を行う高等学校等を支援する。

## 事業概要

### 【事業の目的・目標】

■ 先進的な理数系教育を実施している高等学校等を「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」に指定し支援。

■ 中等教育段階から体系的に先進的な理数系教育の実践を通じて、

・生徒の科学的能力を培い、将来のイノベーションの創出を担う科学技術関係人材の育成を図る。

・高等学校等の理数系の教育課程の改善に資する実証的資料を得る。

✓ 2019年度 新規指定校数:50件程度

✓ 指定期間:5年、支援額:年間 7.5～12百万円、指定校数:204校(H30現在)

○ 学習指導要領の枠を超え、理数系分野を重視した教育課程を編成

○ 主体的・協働的な学び(いわゆるアクティブ・ラーニング)を重視

○ 研究者の講義による興味関心の喚起やフィールドワーク等による自主研究の取組

○ 上記取組を高大連携や企業連携により高度に実施 等

### <重点枠>

✓ 最長5年、支援額:年間 5～13百万円、重点枠数:14校(H30現在)

○ SSH指定校の中で、さらに、以下の取組を行う学校を重点枠に指定

・育成する人材像から導かれる資質能力を段階的に育成・評価する手法を大学と共同して開発・実証することにより、将来、我が国の科学技術を牽引する人材の育成を図る。

・理数系の教育課程や指導法、ネットワーク等を都道府県レベルで広域に普及することにより、地域全体の理数系教育の質の向上を図る。

・海外の研究機関等と定常的な連携関係を構築し、国際性の涵養を図るとともに、将来、海外の研究者と共同研究ができる人材の育成を図る。

・地球規模の社会問題について、NPO法人や企業等との連携の下、科学的な課題研究を行うことにより、新たな価値の創造を志向する人材の育成を図る。

### 【これまでの成果】

#### 高度な課題研究

(平成30年度SSH生徒研究発表会表彰テーマ)

○ 文部科学大臣表彰:鹿児島県立国分高等学校  
 「幸屋火砕流の影響から7300年立ち直っていない? ～大隅諸島のエンマコガネと幸屋火砕流の関係～」

○ 国立研究開発法人科学技術振興機構賞

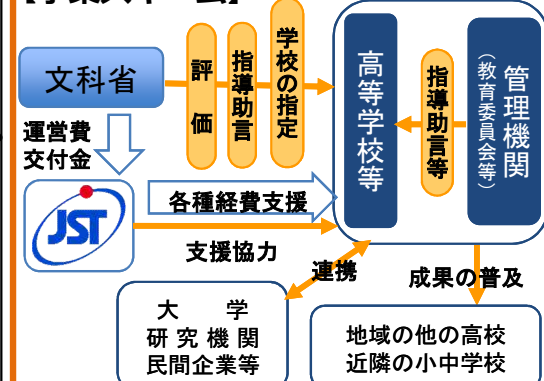
・福島県立福島高等学校

「プラズマによる流体制御の研究」

・名古屋市立向陽高等学校

「ユリの花粉管誘導Ⅱ～誘導を無視して伸びる花粉管の謎～」

### 【事業スキーム】



⇒ 「課題研究」(科学に関する課題を設定し、観察・実験等を通じた研究)において、大学・企業等の支援を受けながら、主体的・協働的に学習・研究を実施

### 海外連携



(学校法人立命館立命館高等学校)

○ 海外20カ国・地域から

高校生が集まる「Japan Super Science Fair」を開催

○ 国境や文化を越えたグループで、研究発表に加え

て食糧問題に関する科学アクティビティーに取組む

⇒ 国際的に活躍する意欲能力の育成

### 広域共同研究



(福島県立福島高等学校)

○ 第30回CASTIC日本代表として参加

○ 福島県内外及び海外の線量調査を実施し、結果を国内はじめ、フランス、イタリアの発表会で紹介

○ 論文は英国物理学会発行の論文誌に掲載

⇒ 国や地域を越えた社会への貢献

## 三田共用会議所

所在地	〒108-0073 東京都港区三田 2-1-8 TEL 03-3455-7591
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 営団地下鉄 南北線 麻布十番駅下車 徒歩 5 分 (2 番出口)</li> <li>都営地下鉄 大江戸線 麻布十番駅下車 徒歩 7 分</li> <li>● JR 田町駅下車 徒歩 20 分</li> <li>都営地下鉄 三田線 三田駅下車 タクシー 7 分</li> <li>都営地下鉄 浅草線 三田駅下車</li> <li>● 都営バス ニノ橋バス停下車 徒歩 2 分</li> </ul> <p>系 統</p> <p>[都 06] 新橋駅－渋谷駅</p> <p>[橋 86] 新橋駅－目黒駅</p>

